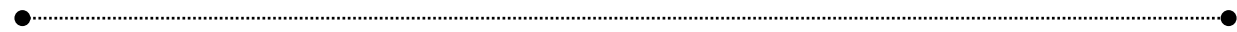


令和6年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	富士見町ふるさと魅力創造・宣伝事業	
事業主体 (連絡先)	富士見町商工会	
事業区分	①地域協働の推進に関する事業、⑧その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業	
事業タイプ	ソフト	
総事業費	3,673,725 円 (うち支援金 :	2,938,000 円)



事業内容

●商工会や関わっている団体で行われている様々な企画の広報や、ショート動画、縄文人ムサイさんの画像配信
YouTube、Instagram、facebook、Tik Tok 総配信数 121 本、視聴総数 39,870 回

●まるごと魅力推進事業

10月19日(土)に同日開催した商工会主催の縄文ハロウィン、井戸尻考古館主催の収穫祭、観光協会のイベントをつなぐ「まるごとふじみ縄文 Day」として下記の取組みを行なった。

- ・イベント周遊便(縄文シャトル便・デマンド便)の運行 65名利用
- ・ライブカメラの設置 357アカウント視聴
- ・イベント連携ポスター・チラシ作り



【周遊便・ライブカメラの様子】

【目標・ねらい】

事業効果

色々な媒体を使うことで、幅広い年齢層に周知出来た。また、こまめに情報を上げることで視聴者に色々な情報を見てもらえている事が実感出来た。

シャトル便の利用者は親子世代や子ども達同士、祖父母と孫と一緒に利用する姿も多くみられた。自家用車が無い方々や駐車場の確保が出来ない中での取り組みで、一定の効果を実感することが出来た。

また、アンケートの中で「シャトル便があるから他のお祭りにも行けた」という意見もいただくことが出来た。

今回、SNSを強化したことによってチラシやポスターだけでなく、SNSからの情報によってイベントにきてくださった方がいることも認識することが出来た。

- ①当町の魅力を、女性・若者、町外の人に知ってもらい、多くのファンを獲得し関係人口の増加を図ること
- ②年間を通じた富士見町の年間行事をお届けするメディアとプロモーション活動、イベント開催をし、多世代の交流を促進し、地域コミュニティ機能の向上を図る

今後の取り組み

引き続き、紙での発信と同時に SNS 等の電子媒体を使用しながら富士見町の情報発信をし、町民だけでなく、今後、I ターンや J ターンになる可能性のある町外の人々にも周知を行っていく。また、今回はイベントの町内周遊便を行なったが、町外からも来れるような仕組みづくりにも取り組んでいく。

※自己評価 【 A 】

【理由】

SNS の視聴者数が伸びたこと、また、周遊便に関しても、利用者が目標人数以上の 65 名いた。アンケート結果からも交通弱者や駐車場問題の解決にもつながる取組が出来た。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある